

# 令和二年度 子ども会育成だより

上田市子ども会育成連絡協議会

No.52号  
3月31日発行  
編集・発行  
上田市子ども会  
育成連絡協議会

## 令和2年度 上田市子ども会育成連絡協議会 主催事業 冬の自然体験教室



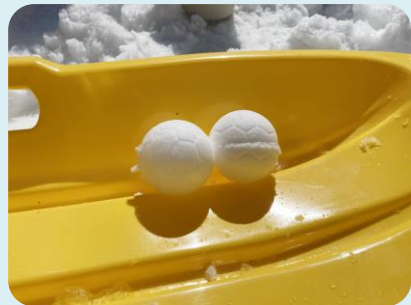
例年だと寒さ対策をバッチリして臨む「冬の自然体験教室」ですが、今年度は春の訪れを感じる陽気となりました。やまぼうし自然学校・加々美さんの御指導のもと、4家族9名が参加しました。



昼食後は、家族単位で小枝のストラップ作り挑戦しました。小刀を使い小枝をえんぴつ削りして色付けしオリジナルストラップを完成させました。



遊び方はそれぞれ自分で決めます。足の竦むような角度の雪の壁を勇氣を出してそりで滑り降りたり、雪の壁をスコップで掘って基地を作ったり、雪玉をたくさん作っての雪合戦、子どもの動きに付いていくのがやっこの保護者の皆さんたち。



## ブロックだより

東塩田ブロック理事 竹花節夫

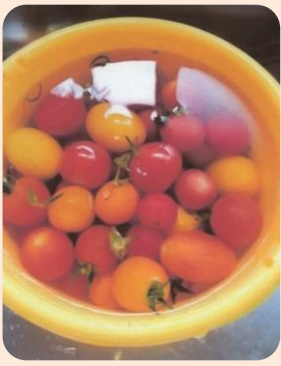
「今年度は残念!! 育成会活動ができない」

富士山中組育成会活動について御紹介します。例年ですと4月に「歩け歩け運動」5月に「環境美化」6月「球技大会」夏休み中に「ラジオ体操」「パーバキュー」「盆踊り」10月に「運動会」12月「しめ縄づくり」「クリスマス会」1月「どんど焼き」「道祖神」2月「6年生を送る会・新1年生を迎える会」というように、育成会独自の行事と自治会の行事を組み合わせ協力して活動しています。子どもたちにとっては楽しい思い出となったり良い体験となっています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症により、ほとんどの行事の中止を余儀なくされ、子どもたちにとってはかわいそうな1年となってしまいました。こんな中でも感染予防をした上で12月のしめ縄作りを実施しました。講師の先生に教えてもらいながら一生懸命にそれぞれ立派なしめ縄を完成させ、嬉しそうに自宅へ持ち帰りました。大人と子どもが触れ合う良い行事ができました。



今年度はミニトマトを育てました。いろんな種類のミニトマトの苗があり、どんなトマトができるのかワクワクしている様子の子もたち。苗が倒れないように支柱の立て方を地域の人たちに教えてもらいながら、和気あいあいと作業が進みました。トマトが赤く実ると「食べ頃です。収穫してください。」とお知らせメールが届き、各家庭で収穫をしながら、バケツいっぱい収穫しました。バケツいっぱい収穫したご家庭、野外での作業で良い気分転換になったなど、喜びの声をいただき、コロナ禍ではありましたが、子どもたちの記憶の中に残るお手伝いができ、開催して本当に良かったと思えました。児童数も年々減少しています。子どもたちのためにその都度できることを考えていきたいなと思えました。



「コロナ禍での活動」  
北部理事 白石直子

今年の愛宕町育成会の活動は、コロナの影響でほとんどが中止になってしまいました。が、野外で密にならないことと、例年通り農園活動を実施しました。



「常磐町子ども会育成会活動」  
西部・塩尻理事 八代典子

常磐町育成会では毎年、自治会の方、小中PTAの方と協力して活動しています。自治会の方との活動は、夏の盆踊り、冬のどんど焼きがあります。盆踊りでは、子どもたちのためにPTAの方々と協力し縁日のようなイベントを2〜3回行います。昨年は、子どもたちが踊りの輪に入れるよう流行の「パプリカ」を取り入れたりしました。しかし今年度は、コロナ禍のため残念ながら中止となりました。

どんど焼きは、規模を小さくし、マスクを着け、密にならないように焼いた藪玉は家に持ち帰って食べるなどの対応をして、何とか行うことができました。参加人数も例年より減り静かなどんど焼きとなりました。

PTAの方とは、夏のお楽しみ会、冬のクリスマス会、春の歓送迎会などがありますが、今年度はどれも中止になり、クリスマスプレゼントと3月に進学進級祝いのプレゼントを配ることにしました。来年度は、少しでも地域に子どもたちの元気な声が戻ることを願いながら、次の方に引き継ぎたいと思います。



### 体験活動支援事業補助金対象事業

体験活動支援事業補助金を活用して開催しました。感染症対策を徹底し、各育成会で工夫をしたことで、子どもたちは様々な体験ができました。

#### 新町育成会

##### 「子ども草刈り清掃隊」

コロナがまだ落ち着かない状況でしたが、夏休みに1つでも子どもたちと何かやりたいと思い計画しました。空き家も増えてきて、民生委員さんから「草取りをしてほしい」との依頼もあり子どもたちも一生涯命できて良かったです。



#### 北天神子ども育成会

##### 「敬老の日にお年寄りへ感謝の絵便りを届けよう」

集まって何かをするという行事ができなかったが、各家庭で絵便りを作り、それを集めて形になったのでとても良かった。子どもたち一人一人が責任を持ってメッセージの収集に取り組んでくれた。



#### 塩田新町育成会

##### 「親子学習会 魚つかみ取り体験」

コロナの影響で、様々な行事が中止になっていく中、迷いもありましたが、マスク着用、検温、消毒を行い開催することになりました。参加人数も43名と予想以上に多く大変でしたが、子どもたちは雨の中でも楽しんでいる様子で、無事開催できて良かったと思います。

#### 院内育成会

##### 「焼き芋大会」

コロナの影響で苗植えができず、地域の方が育ててくれたおかげで収穫祭をやることができました。普段なら羊の大きさを競って順位をつけて景品を渡したりしているが、時間短縮のためそれも出来ず、そんな中でも地域の方々と交流を持てた事は嬉しいことでした。



#### 下紺屋町育成会

##### 「山と自然の美しさ見学会」

昨年の春には、こんな1年になることを誰もが想像してなかったと思います。これから普通の生活に戻ることができるとは判りませんが、感染症対策等を考えて様々な行事体験または、スポーツができる事を願うばかりです。

#### 平井寺育成会

##### 「平井寺元氣塾」収穫祭」

コロナの影響の中、元氣塾は開催することができ、とても良かったです。外での活動になるので、子どもたちはとても元気に活動でき長生会の方々と交流もできて、とても良い体験でした。来年以降も継続していきたいです。



#### 住吉が丘育成会

##### 「花植え隊」

コロナ禍の中、体調などに気を付けるよう呼びかけ、安心して開催できるよう気を付けたことでみんなで楽しい時間、交流ができて良かったと思う。



#### 手塚育成会

##### 「ふるさと学習会 ～手塚の史跡巡り～」

コロナの影響により、時期を延期しての開催を計画し、感染状況も落ち着いてきたことにより実際に開催することができ非常に良かったと思う。昼食及びお楽しみ会は、今回は取りやめとしたが、感染症対策を講じ、お楽しみ会を開催できないか、今後検討していきたい。

#### 田町育成会

##### 「疫病退散礼祭」

今できる事は何かを考え、皆と力を合わせ開催できた。例年になく新しい生活様式を考えさせられるようなイベントになりました。



#### 愛宕町農園

##### 「愛宕町農園」

コロナの影響で子どもたちの行事は全部中止の中、いろいろな声はありましたが、(農園活動は野外で出来る・密にならないなど)行うことにしました。収穫も食べ頃をお知らせしてここに行ってもらおうようにしたり、それぞれ楽しんでもらえたと思います。



#### 横町育成会

##### 「秋のお宮清掃」

当初、料理体験を計画したがコロナの影響で勤労体験としてお宮清掃を実施した。計画変更となり残念がってしまうのではと心配したが、子どもたちなりに状況を理解してくれ頼もしかった。限られた中で創意工夫する姿を感じた。ご褒美にボウリングをみんなで楽しんだ。



### 編・集・後・記

「できない」「やらない」「から」できる事を工夫して「どうしたらできるか考えよう」。後期育成会活動において発想の転換を回し、乗り切った1年でした。理事の皆さん、育成会長の皆さん、お疲れさまでした。(事務局)